

阿見中央地区都市再生整備計画の概要

阿見中央地区での都市再生整備計画による事業は、『地域資源を活かした市街地の再生による安全・安心で魅力あるまちづくり』を大目標として、令和元年度から令和6年度までの6年間で期間として、進めてきたものです。事業は概ね完了しており、令和6年12月末までの事業終了を目指します。

大目標

地域資源を活かした市街地の再生による、安全・安心で魅力あるまちづくり

小目標1

良好な住環境を提供し、
住み続けたいまちを創出する。

小目標2

災害に強いまちづくりにより、
中心市街地の活性化を図る。

事業効果①

良好な住環境提供
による人口定着

事業効果②

コミュニティの形成

事業効果③

水害リスクの低減

事業効果④

安全・安心な生活環境の
確保による地区の活性化

目標実現のため、以下の通り、事業を実施しました。

事業概要(全体像)



かまどベンチ



曙ふれあい公園



ワークショップの様子

曙地区に面積約 7,500 m²の街区公園を整備し、令和6年6月に開園しました。この公園には、かまどベンチや防災井戸等も設置されており、災害時の避難場所として利用ができます。

なお、実際に公園を利用する方々の意見を公園整備計画に反映させるため、令和3年度より計4回にわたり、ワークショップを開催しました。ワークショップでは、公園の利用方法や施設の配置、公園名について、意見交換をしていただき、整備に反映しました。



防災井戸



かすみ公民館



防犯灯



町道 3014 号線

地域コミュニケーション形成や災害時の利用を見据え、公民館を改修しました。

災害拠点の交通網を強化するため、道路(町道 3014 号線)を整備しました。

また、地区内の防犯性向上のため、防犯灯を整備しました。



水路 (中央 8 丁目)



調整池



雨水管 (富士団地)

過去の大雨の際に、道路や市街地の冠水、污水管への雨水の流入等の浸水被害が発生した地域において、排水機能の向上と地区の浸水リスクの低減を目的に、調整池整備と水路及び雨水管、污水管の改修等を実施しました。いずれの施設も大雨等が発生した際の内水氾濫を抑える効果が期待できます。



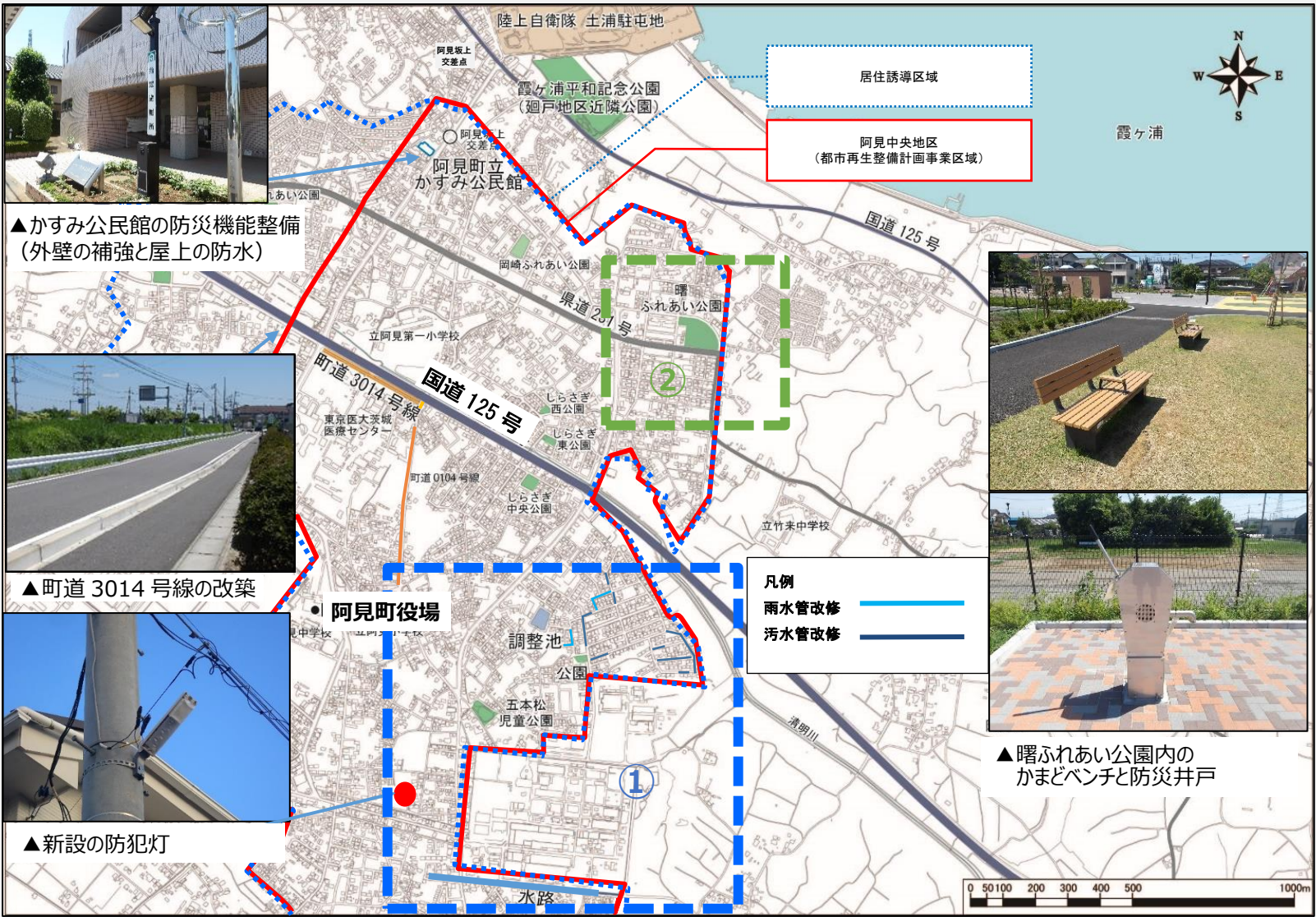
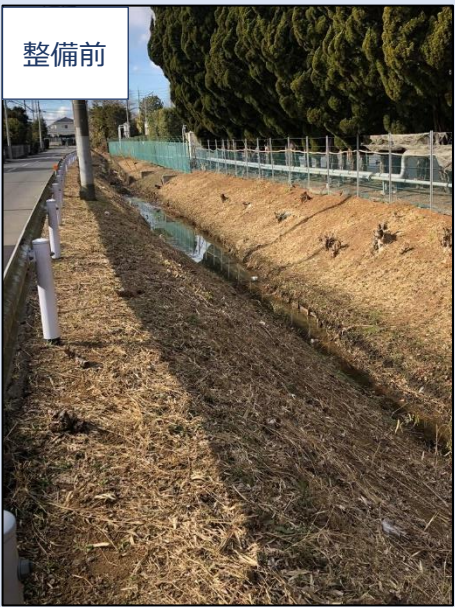
污水管 (富士団地)

阿見中央地区都市再生整備計画の概要

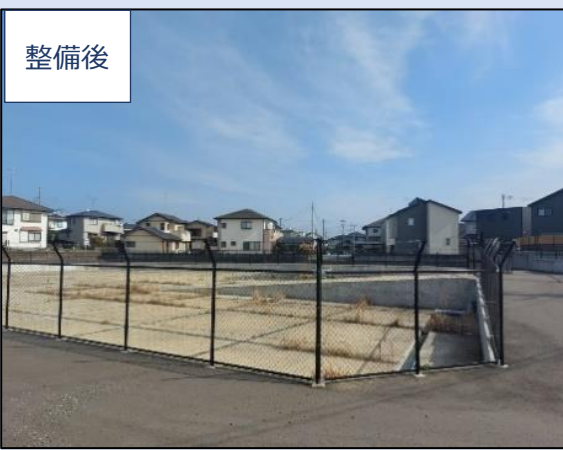
主な実施事業



拡大図① 水路整備前後の様子



拡大図① 調整池整備前後の様子



拡大図② 曙ふれあい公園整備前後の様子



都市再生整備計画 事後評価の概要① ～阿見中央地区のまちづくり目標と指標設定の考え方～

大目標	地域資源を生かした市街地の再生による安全・安心で魅力あるまちづくり			
小目標	良好な住環境を提供し、 住み続けたいまちを創出する。		災害に強いまちづくりにより、 中心市街地の活性化を図る。	
整備方針	良好な住環境を形成し、住み続けたいまちを創出する。 ～住民との連携によって地域のニーズに即した都市施設を整備し、安全で良好な市街地の形成を図る。～		災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る。 ～災害時の被害を最小限に軽減させる施設を整備し、土地利用の活性化を図る。～	
想定する 事業効果	事業効果① 良好な住環境提供 による人口定着		事業効果③ 水害リスクの低減	
実施事業 ★基幹事業 ●提案事業 ○関連事業	事業効果② コミュニティの形成		事業効果④ 安全・安心な生活環境の確保による 地区の活性化	
	★曙ふれあい公園整備 ★富士団地污水管流下能力機能向上 ★調整池整備 ●中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ●富士団地雨水管流下能力機能向上 ●公園ワークショップ実施		★調整池整備 ●中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ●富士団地雨水管流下能力機能向上 ●地区公民館防災機能向上 ●防犯灯設置 ●中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ●富士団地雨水管流下能力機能向上 ●公園ワークショップ実施 ○町道 0104 号線道路拡幅	
事業結果	公園や排水施設等の整備により、地域コミュニティ創出に資する場の形成や排水に係る衛生環境が向上し、人口定着の一助となる良好な住環境が創出された。		冠水リスクの低減や道路利用の安全性、防犯性が向上したほか、公園の整備により、災害に強いまちづくりに寄与するとともに、地区の活性化の一助となる安全・安心な生活環境が形成された。	
当初から 設定した 数値指標	指標 1 居住世帯の増加		指標 2 冠水エリア面積 の縮小	
定義	阿見中央地区の各行政区ごとの世帯数を 事業区域の面積で按分した値		雨水施設を整備した周辺の冠水面積	
従前値 ⇒目標値	5,119 世帯(H30) ⇒5,519 世帯(R5)		2ha(H30) ⇒0ha(R5)	
評価値 (達成状況)	5,768 世帯(達成)		0ha(達成)	
その他の 数値指標	指標 3 公園利用者の増加		指標 4 居住誘導区域※ の世帯数	
定義	曙ふれあい公園の年間利用者数		阿見中央地区の各行政区の世帯数を 事業区域※の面積で按分した値	
評価値	0 人(H30) ⇒8,580 人(R5)		5,119 世帯(H30) ⇒5,519 世帯(R5)	
	12,740 人(達成)		5,768 世帯(達成)	
	【その他の数値指標2】地区の住環境向上による満足度		【その他の数値指標1】地区の安全・安心の変化	
	「阿見中央地区の整備効果に関するアンケート」(令和 6 年 8 月実施)の問 1～4(居住環境、まちの防災性、コミュニケーションのしやすさ、住みやすさ・豊かさ)に対し、「満足」、「概ね満足」と答えた人の合計の割合を計測する。		「阿見中央地区の整備効果に関するアンケート」(令和 6 年 8 月実施)の問1～4「水害リスク、災害発生時、夜間歩行時における安全性の変化」に対し、良くなっている、若干良くなっていると答えた人数の割合を計測する。	
	53.9%		58.0%	

※阿見中央地区は全て居住誘導区域内となります。

※阿見中央地区は全て居住誘導区域内となります。

大目標	地域資源を生かした市街地の再生による安全・安心で魅力あるまちづくり			
小目標	良好な住環境を提供し、 住み続けたいまちを創出する。		災害に強いまちづくりにより、 中心市街地の活性化を図る。	
事業効果	事業効果① 良好な住環境提供 による人口定着	事業効果② コミュニティの形成	事業効果③ 水害リスクの低減	事業効果④ 安全・安心な生活環境の確保 による地区の活性化
指標	【指標 1】 居住世帯の増加	【指標 3】 公園利用者の増加	【指標 2】 冠水エリア面積の縮小	【指標 4】 居住誘導区域の世帯数
達成度	達成度○	達成度○	達成度○	達成度○
指標達成に 貢献した 事業	○ 間接的に貢献 ・曙ふれあい公園整備 ・富士団地污水管流下能力機能向上 ・調整池整備 ・中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ・富士団地雨水管流下能力機能向上 ・公園ワークショップ実施	◎直接的に貢献 ・曙ふれあい公園整備 ・公園ワークショップ実施	◎直接的に貢献 ・調整池整備 ・中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ・富士団地雨水管流下能力機能向上	○間接的に貢献 ・町道 3014 号線改築 ・曙ふれあい公園整備 ・調整池整備 ・地区公民館防災機能向上 ・防犯灯設置 ・中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ・富士団地雨水管流下能力機能向上 ・公園ワークショップ実施 ・町道 0104 号線道路拡幅
効果発現 状況の 総合所見	・曙ふれあい公園の整備や調整池をはじめとする下水道(雨水・污水)施設の整備・機能更新により、当地区のまちづくりの課題を解消し、居住環境が向上したことから、居住世帯の増加に間接的ながら貢献の一助となったと考えられる。	・公園ワークショップを実施したことにより、地域住民のニーズを踏まえ、機能性に富んだ公園の整備ができ、住民満足度の高い公園となったと考えられる。 ・多様な世代の遊び場や運動の場等として利用されており、地区の賑わいやコミュニティ形成の素地づくりを図れた。	・調整池整備と水路及び雨水管の流下能力機能向上により、地区の雨水処理能力が向上し、冠水被害が見られなくなったことから、冠水エリア面積の縮小に貢献した。また、地区の安全・安心の向上にも寄与している。	・公園、調整池整備や雨水管の整備・機能向上により地区の発災時の安全・安心が向上し、また、町道 3014 号線の改築や防犯灯の整備により、平時の安全・安心の向上にも貢献したと考えられる。 ・事業による地区の安全・安心の確保により、居住誘導区域内の世帯の増加に間接的ながら貢献の一助となったと考えられる。
その他の 数値指標 及び達成度	その他の数値指標を設定し 事業効果をさらに補足		その他の数値指標を設定し 事業効果をさらに補足	
指標達成に 貢献した 事業	【その他の数値指標 2】地区の住環境向上による満足度 【達成度】効果あり		【その他の数値指標 1】地区の安全・安心の変化 【達成度】効果あり	
効果発現 状況の 総合所見	◎直接的に貢献 ・曙ふれあい公園整備 ・富士団地污水管流下能力機能向上 ・調整池整備 ・中央 8 丁目の水路流下能力機能向上 ・富士団地雨水管流下能力機能向上 ・公園ワークショップ実施		◎直接的に貢献 ・町道 3014 号線改築 ・曙ふれあい公園整備 ・調整池整備 ・地区公民館防災機能向上 ・防犯灯設置 ・中央 8 丁目水路流下能力機能向上 ・富士団地雨水管流下能力機能向上 ・公園ワークショップ実施 ・町道 0104 号線道路拡幅	
	・住民アンケート回答者の過半が、公園、調整池等インフラ施設の整備により、以前に比べて地区の住環境、まちの防災性、コミュニケーションのしやすさ及び住みやすさ・豊かさに満足・若干満足と回答しており、事業により地区の住環境の向上に貢献することができたと考えられ、住民の住環境向上による満足度の高まりにより、地区の人口定着の一助となっていると考えられる。		・住民アンケート回答者の過半が、調整池や水路等改修等による出水期の安全・安心、公園整備による発災時の安全・安心及び道路改築や防犯灯整備による平時の安全・安心が以前に比べて良くなっている・若干良くなっていると回答しており、事業により地区の安全・安心の確保に貢献することができ、人口定着・地区の活性化の一助になっていると考えられる。	